

「憲法9条の碑」除幕

有志建立 平和への思い新た 原 村

原村の住民有志でつくる「原村に『憲法9条の碑』を建てる会（橋田源一代表）」は3日、多くの賛同、協力を得て同村払沢のパン店「パバゲ1ノ」の敷地に建立した同碑の除幕式を現地で開いた。中心になって準備を進めてきた



約1000人が集い、青空の下で行われた原村「憲法9条の碑」の除幕式

「憲法9条を守る原村民の会」の会員をはじめ、制作者の彫刻家八木ヨシオさん、同村、住民など約1000人が集まって建立を喜び、平和への思いを新たにしました。

石碑は自然の風合いの八ヶ岳安山岩を使用。表面には「NO WAR!」守れ、9条」と、八木さんが考えた「ETERNAL」の文字が手で彫られ、水色のベースに白い鳩を彫った丸い石をはめ込んだ。裏面には憲法9条の文をルビ入りで記したプレートを取り付けた。台座を含む高さは110センチ。募金により予定の約150万円が集まった。

除幕には元村長の清水澄さんも立ち会った。橋田代表は「大勢の協力で、優しい姿の原村に合った碑ができた。平和を願う思いは原村の力。9条の碑をこの地に据えて平和

とともに守っていきたい」と清水さんは「会員の熱い思いが凝縮された碑。世界恒久平和と人類の発展、安寧が図られることを願う」とあいさつ。八木さんは「責任を感じつつも一緒に活動できて良かったです。平和と福祉関係の拠点であるこの場所に碑が建つことをうれしく思う」と話した。

牛山貴広村長からのメッセージ、呼び掛け人のあいさつ、インディアンフルートの演奏などもあった。（武井葉子）